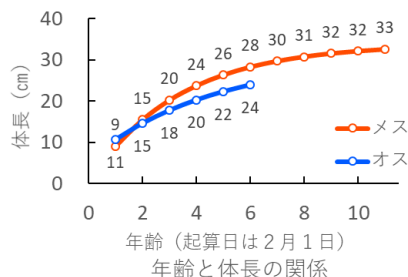


ヤナギムシガレイ

1 生態

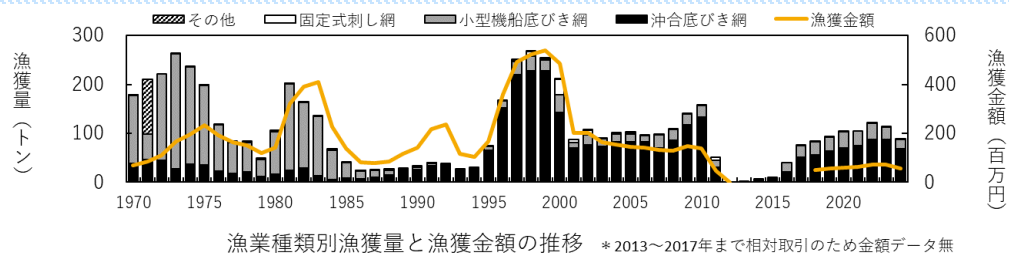
- ・北海道以南に分布し、福島県沖では主に水深100～150mに分布します。産卵に伴い浅海域に移動し、水深80～100mの海域で多く漁獲されます。
- ・産卵活動の主体はオスが満2～3歳、メスが3～5歳です。産卵期は1～6月で、盛期は1～3月です。
- ・主に多毛類、甲殻類などを食べます。

* 福島県水試研究報告第9号（2000）により右図を作成



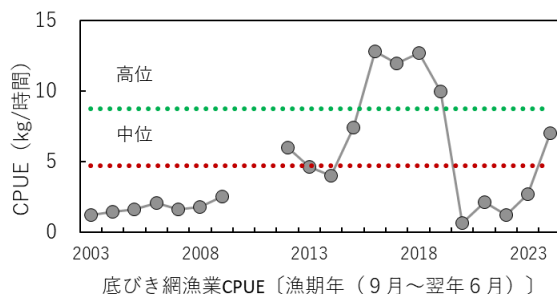
2 漁業に関する情報

- ・主に沖合底びき網で周年漁獲されています。
- ・2024年（令和6年）の漁獲量は87トン、金額は57百万円でした。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛により水揚げはありませんでしたが、2013年（平成25年）4月から再開されています。



3 資源の状態

- ・資源の水準：中位、資源の動向：増加
- ・底びき網漁業のCPUE（曳網1時間あたりの漁獲量）は、2018年漁期をピークに減少し震災前と同程度の低水準でしたが、2024年漁期の資源動向は増加傾向にあります。



4 資源管理の取組み

- ・国が作成する資源回復計画（～2011年度）に基づき、沖合底びき網漁業及び小型機船底びき網漁業において、保護区（4～6月）が設定され、2012年度以降は資源管理指針・資源管理計画体制の下で同様の管理策が行われています。